

noconflict パッケージを試してみる 5

アセトアミノフェン

2015 年 1 月 11 日

test hoge fuga

(てすと AX)(ほげ AY)(ふが AZ)

[テスト BX][ホゲ BY][フガ BZ]

{fooCX} {barCY} {bazCZ}

ここで

- コマンド X を 3 つも使い分ける必要はなく、パッケージ A のマクロだけで良い
- 同様に Y はパッケージ B のもの、Z はパッケージ C のものだけで良い

という事情から、いちいち接頭辞付にしたくない場合があるかもしれない。そうした場合はマクロのリネームを行うと、以後は元のコマンド名で

(testAX) [hogeBY] {fugaCZ}

このように、任意のパッケージの好きなコマンドを自由に組み合わせて利用できるようになる。なお、このときリネームされた接頭辞付コマンドは以下のように空になる。

てすと (ほげ AY)(ふが AZ)

[テスト BX] ホゲ [フガ BZ]

{fooCX} {barCY} baz